

会員生協の ボランティア活動紹介

福井県生協連合会では、会員生協（組織または役職員・組合員）が行っているボランティア活動に対して助成金をお渡しし、活動を応援しています。

福井県生協

フードバンク・フードドライブで 生活困窮者や子ども食堂等への 支援活動に取り組みました

2023年度3回のフードバンク活動と3回（前年より1回増）のフードドライブ活動に取り組みました。食品ロス削減と地域福祉を目的に、余剰食品を子ども食堂や社会福祉協議会等に提供することで、生活困窮者への支援や子どもの居場所づくり支援に取り組んでいます。

フードバンク活動では、職員に加え組合員のきらめきくらしのサポーターに呼びかけ、食品の整理・仕分け作業に協力していただき、子ども食堂や社会福祉協議会など毎回40を超える団体にお届けすることができました。福井県生協連合会にも加盟いただいている福井県フードバンク連絡会を中心に、ハーツの他、県内小売業や企業から食品提供をいただいています。12月18日にはフードバンク連絡会と子ども食堂による交流会を開催し、顔の見える関係づくりを推進しました。

またハーツ10店や大野・勝山きらめき（介護施設）で取り組んでいるフードドライブ活動では、寄付された食品の整理点検作業に組合員（店舗委員・福祉委員）の協力をいただきました。



菅原生協

11/10 美浜東小3年生 「炭焼き体験」開催

11/10(金)に地元的美浜東小学校12名の炭焼き体験が行われました。最初に濱野さんより森の大切さ、炭焼きの歴史、炭ができるまでの過程につき説明があり、その後木材切断、窯入コースター作りを3班に分けて体験しました。体験後は濱野さん秘伝の猪の味噌汁を食べて、皆さん満足していました。関係の皆様お疲れさまでした。今年は3回開催しました。



福井県生協

地域の子どもたちに伝える 「食の大切さ」

緑苑地区壮青年会では、地区の子ども達に「食の大切さ」を伝え、「収穫の喜び」を体験させることを目的として、じゃがいも収穫祭を開催してきましたが、コロナウイルス感染拡大により活動を自粛してきました。

今年(2023年度)は、4年ぶりにその活動を再開することができました。

今回の収穫祭の準備も、まだ吐く息が白い3月中旬に公園内花壇の土作りを始め、耕運機で土を万遍無く耕した後、施肥を行いました。

4月に150株ほどの種芋を植え、5月には、雑草取りや間引きなど収穫祭に向け準備を続けてきました。

7月2日(日)午前10時、自治会の親子連れ約60組が参加し、軍手をはめた子どもたちが土を掘り、およそ100キロ程のジャガイモを収穫しました。

収穫したばかりのジャガイモは、地区の婦人会の手により、フライドポテトなどのご馳走となり、ホクホクしたポテトをその場で美味しくいただきました。

参加した子供たちからは、「お父さんと一緒にジャガイモを掘って、みんなで食べたら、とても美味しかった。」との感想もあり、大人も楽しい休日を過ごしました。



福井県医療生協

年末食料支援に95名来場 健康チェックで健康の振り返りも

第14回食料無料支援を12月26日に県社会福祉センター体育館で開催しました。年末はつきたて餅も毎年お渡しし好評です。「福井市フードドライブ事業」として市環境政策課、県民生協ハーツ学園さんの12月回収品をご提供いただき、その他にもJAのお米、アフラック福井支社の備蓄食品や組合員からの善意の品が数多く集まりました。当日は3時間近く前から待つ方がおられ95名が来場。年末支援時は健康チェックを実施しており、血圧、体脂肪、握力、血管年齢、骨密度を測定、72名が受けられました。「若い時はもっと握力あったのに年取ったんやな〜」など健康に関心を持っていただけたようでした。また、なんでも生活相談会も実施し3名が相談。他にも「1日1食や」「暖房なしで過ごしている」など、会話の中で切実な暮らしの実態が垣間見え、冬を乗り切れるのか心配な方が数名おられました。



ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地（県民生協本部センター内）

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2024年3月4日 No.142

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索



収集ボランティアに ご協力ありがとうございました

ボランティア月間で収集された使用済み切手・ベルマーク・外国コインは、福井ボランティアセンターを通じて次の団体に寄贈され、役立てられています。また、書き損じ葉書は福井県内の福祉施設法人へ寄贈しています。

①NPO法人 誕生日ありがとう運動本部

<http://tanjyobiaria10.web.fc2.com/>

活動内容 知的ハンディキャップ問題の社会啓発活動

②公益財団法人 ジョイセフ(家族計画国際協力財)

<http://www.joicfp.or.jp/>

活動内容 開発途上国への人口・家族計画・母子健康に関する研究および研究助成・援助活動

③公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)

<http://www.jocs.or.jp>

活動内容 アジアやアフリカなどの保険医療が十分でない地域への協力活動

④ユニセフ

<https://www.unicef.or.jp>

活動内容 世界の児童の健全育成



収 集 物	量
使用済み切手	9,300g
ベルマーク	2,300点
書き損じ葉書	263枚
外国コイン	国:15カ国 コイン枚数:183枚 紙幣、古銭



会員生協の活動報告

福井県民
生協

能登半島地震 支援活動の取り組み

1月1日（月）16時10分ごろ石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。犠牲になられた皆様にお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

福井県民生協として、1月1日対策本部を立ち上げ、職員の安否確認、事業所施設の安全確認を行うとともに、福井県やコープいしかわなどからの要請に基づく支援と募金活動をスタートしました。

1. 被災地支援活動

- ①福井県からの支援要請を受け、1月5日に缶詰などの食品3,240個を提供し、石川県珠洲市に送られました。その後も飲料水（2L・600本）を提供しました。
- ②コープいしかわやコープ共済連からの要請を受け、1月8日～2月23日までの期間、宅配添乗支援やコープ共済加入者への訪問活動にあたりました（113人）。また、福井県介護福祉士会からの要請を受け、1月19日～2月29日までの期間、1.5次避難所に介護職員を派遣しました（34人）。



コープいしかわ配送支援

2. 緊急募金活動

1月3日よりハーツで店頭募金を開始。宅配では1月8日より募金の案内を開始しました。同時に全事業所・職場、グループ会社職員において募金に取り組みました。1月末までのべ2,000万円を超える多額の募金が寄せられ、日本赤十字社福井県支部（支部長：杉本福井県知事）および福井県共同募金会に、それぞれ1,000万円ずつ義援金として贈呈しました。



募金贈呈写真（理事長から杉本知事）

今後も被災地支援、募金活動を継続します。募金については被災者への義援金ならびに被災地への支援金として活用されます。

菅浜
生協

恒例イベント開催

R5年度の年間一大イベント“すがはま生協まつり”を、令和5年11月12日（日）に開催しました。

このまつりは、地元組合員はもちろん、敦賀半島西海岸の6集落を対象に開催しているイベントです。

当日は、手打ちそば実演、セイコガニの大安売り、焼きさば、ぼた餅、パン、かき餅揚げ、地場野菜、炊込みご飯などの販売、ケーキ、はし巻、ホットドックのキッチンカー、医療生協による健康測定など多彩な出店で大盛況で終えました。

組合員老若男女が2～3日前より準備し、地元そば愛好家の実演、昔ながらの郷土料理、最近注目のキッチンカーなど、メニュー多彩な出店で大賑わい。

このようなイベントで、地域の方々のつながりを深めながら地域の活性化を強固なものとし、それが“すがはま生協の活性化”に繋がると確信しています。



カニ販売の行列、販売開始30分で完売



サバ焼き人間国宝



医療生協による健康チェック

福井県
労済生協

「令和6年能登半島地震」の被災対応状況

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、多くの方々が被災されました。

この度の災害でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々が一刻も早く元の生活に戻れることを祈念申し上げます。

こくみん共済coopにおいても、1月31日までに石川・富山・新潟を中心に全国で10,274件の被災受付があり、1月10日より全国からの災害対応動員による現場調査対応をおこなっています。被災された組合員へ少しでも早く共済金のお支払いができるよう、今後も全国の役職員が一丸となって被災者対応をすすめていきます。

福井県内では1月31日までに172件の被災受付があり、職員による休日を含めた現場調査対応をおこなっています。被災された全ての組合員への対応が早期に完了できるよう、迅速な被災者対応をおこなっていきます。

<こくみん共済coopでの被災受付状況(1月31日時点)>

・福井県 172件 ・石川県3,631件 ・富山県3,418件 ・新潟県2,639件



富山県での現場調査

福井大学
生協

60周年記念イベント開催しました！

福井大学生協では2023年に60周年を迎えました。10月から1週間ごとに、環境活動として、リサイクル弁当容器の集中回収やペットボトルの回収運動、体のメンテとして、野菜の摂取量が足りているかチェックする、ベジチェックや健康Weekなど、多くのイベントや取組を行ってきました。それらの最後の締めくくりとして2023年12月21日・22日に「福井大学生協60周年大抽選会」を行いました。

当日はあいにくの大雪で参加者が目減りしてしまいましたが、それでも文教・松岡両キャンパス合わせて2500回の抽選で、例年の2倍近い総額約40万円相当の景品が当選されました。また、雪のせいで参加できなかった組合員のために、抽選券でエントリーできる、お年玉チャレンジを開催し、60周年にちなんで、60名に1,000円分の電子マネーをプレゼントしました。



福井県
学校生協

「福井県しあわせ基金」に寄付

令和5年度事業計画に基づき、ハーベスト7・9月号チラシの供給高3%を、令和5年10月16日「福井県しあわせ基金」へ寄付しました。



「2023組合員感謝祭」を開催

令和5年10月28日(土)、「2023組合員感謝祭」を福井県教育センター全館にて、1日開催で行いました。

当日は、天候の悪い中、多くの組合員さまにご来場いただき、ハロウィンイベント・ビンゴゲーム・大抽選会等を盛大に行いました。

